



府中市議会・市政レポート

いなづ 稲津 けんご



今号の主な項目

- 1面 【予算審議】新たな補正予算を市民目線で斬る
- 2面 【一般質問】ストップ！市職員の過重労働
- 3面 【委員会から】人道的観点で遺骨が残る土砂の使用に反対する
- 4面 【議会が謎だから聞いてみた】6. 監査委員のお仕事

【12月議会】疑問点を明らかにすることが大事！

予算審議 新たな補正予算を市民目線で斬る

● 令和3年度も補正予算編成が続く

新型コロナウイルスの猛威が止まりません。2021年11月に「オミクロン株」という強力な変異種が現れ、第6波への不安が高まりました。経済活動も思うように行かない状況で、新たな補正予算が組まれることになりました。

このうち、第4号となる一般会計補正予算は、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種と、府中市商店会連合会が実施する「フーちゃんお買物券」（以下：買物券）への助成を目的として計上され、11月29日の本会議で即決審議されました。

その際、4会派から質問の手が上がり、市民フォーラムからは、稲津けんごが質問に立ちました。



● 行政の動向を問うことも大事だが

稲津の質問は4番目。それまでの3会派は、事業の概要やこれまでの検証結果など、市の動きを中心に質問を重ねました。勿論、このことも重要ですが、市民に情報提供するという観点から、稲津は市民が率直に感じる疑問点を中心に質問していきました。

● まずは「利用したい方」の立場で考える

ワクチン接種を受けたい方、買物券を利用する消費者、買物券に賛同する店舗などの立場に立った質問は、3会派の合計を上回る数でした。今回の補正予算には稲津を含め、議員全員が賛成し、可決・成立しました。



【12月議会】是非とも参考にしてください

予算審議 第4号補正予算 稲津けんごが聞いてみた（一部）

【3回目接種について】

Q. どのワクチンが使われるのか？

A. 個別接種ではファイザー製のみ使用する。集団接種はファイザーとモデルナ製を予定している。アストラゼネカ製は市で取り扱わず、他市会場を含めて対応いただく。

→ ファイザーやモデルナ製が合わないことからアストラゼネカ製を接種した方に、十分に配慮するよう求める。

Q. 3回目接種と5～11歳児の1・2回目接種の時期が重なるが、会場やスケジュールに問題は無いのか？

A. 5～11歳児には、小児科での個別接種を促す。

→ 大人の診察も行う内科を併設した小児科では、病院側の判断に委ねられるのか。明確にする必要がある。

【買物券について】

Q. どのような業種を想定しているのか？

A. 風営法で該当するものを除く、様々な業種を想定。

→ 医療機関や金融機関などが加盟した商店会もある。

Q. 学習塾を例に。保護者が振り込んだ月謝を受けて、塾に来た子どもに買物券を渡すことは認められるのか？

A. 支払い方法は口座振替やクレジットカードなども認めている。当該事例に問題は無いと考える。

Q. 今回の買物券を利用できないものは？

A. タバコ、市指定ゴミ袋、公共料金の支払い、現金との換金、換金性の高いもの（商品券など）の購入など。

【9月議会】「頑張れ」のひと言で追い詰めないで！

一般質問 ストップ！市職員の過重労働

●「無理」や「我慢」を美德にしないで

コロナ禍が続き、国の急な方針転換や先行き不透明な状況が続く中、全国の自治体で職員の過重労働が問題視されています。「過労死ライン」と呼ばれる「月80時間を超える時間外労働」も多く報じられていることから、稲津は府中市の状況とその対策について質問しました。

担当部長からは、一部の職員が過労死ラインを超える時間外労働を行っており、身体的・精神的な疲労蓄積が認められたら、時間外勤務の制限など産業医の指導に基づいて対応していると答弁がありました。認められない場合は対応しないと取れる内容は看過できません。



●人を増やし、そして減らさない

稲津は、「必要な人員を適切に配置することが職員の過重労働対策で最も重要である」と主張。応援体制の充実や、職員の増員を要望しました。市長からは「全庁での応援体制を築いて特定の職員に過度の負担がかからないよう対応している」との答弁があり、引き続き、職員が活力を維持して業務に取り組めるよう、努めていく意向を示しました。

質問中に直接述べることはしませんでしたでしたが、真面目に勤務している職員が離職に追い込まれることも防がなければなりません。特に、若手職員へのケアは重要になってくるでしょう。



【9月議会】「コロナだから行きません」と言わずに

一般質問 これからは選挙も「新しい様式」に

●投票権の確保と迅速な事務に向けて

2021年7月執行の都議選から、郵便投票の対象に新型コロナウイルスで療養中の方が加わりました。これを受け、稲津が状況を尋ねたところ、市に加えて保健所や都選挙管理委員会事務局などからも対象者に呼びかけ、実際に郵便投票を行った方がいらっしゃるという回答を得ました。

また、投票所の人員や用具などに対するケアを入念にし、ワクチン集団接種会場と同じフロアで行われた期日前投票についても、関係部署と綿密に調整して、問題なく遂行したとの答弁がありました。

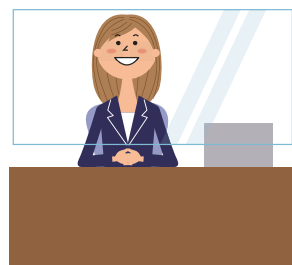
選挙業務は一時的でも長時間労働が発生します。工夫を凝らして適切に対応している点は大きいと評価できます。



●知れば納得！府中市の対応

稲津の登壇前にあった市選挙管理委員会事務局の答弁に、今回の都議選から、入場券に記載のバーコードを読み取ってスムーズに受付ができる機械を導入したとありました。その時の投票を振り返ってみると、確かに早く受付が終わったという印象がありました。職員が従来より少ない中でもしっかり機能しており、機械ひとつが与えた効果は大きかったと言えるでしょう。

今回の機械は、2021年10月執行の衆議院選挙でも導入されました。町別で並ぶ必要が無いため、担当職員の負担も軽減されたことでしょう。開票も手早く、小選挙区では、2時間弱で確定得票数が発表されました。



「ネタかぶり」とは限りません

ひといき 同じテーマの一般質問も視点を変えれば…？

●勝ち負けでなく素直に聞こう

府中市議会の一般質問は、通告した順（つまり先着順）で登壇していきます。一般質問が行われる直前に通告表が公表されますが、この時に通告内容が他の議員と重なってしまうことはよくあります。9月議会や12月議会でも、こうした状況がいくつか見られました。

同じテーマで順番が後になっても、先を越されたと嫌に思ったり、質問を取り下げたりする必要はありません。逆に、順番が先になったからと言って、勝った気になるのもおかしな話です。一言一句、質問文や内容が変わらないことなどありません。



●同じテーマで4名が質問したことも

平成30年第3回定例会（2018年9月議会）の一般質問で、稲津を含む4名の議員が「熱中症・猛暑対策」を取り上げました。4名も取り上げると「またか」という声が聞こえてきそうですが、実際の質問を振り返ると「市主催のイベント実施状況」「子どもへの対応」「エアコンの設置」「救急搬送数」など、内容は多岐にわたっていました。

こうした質問を通じて、新たな気づきや考え方が得られます。市がこれらを反映させると、より深く、かつ守備範囲が広い制度や政策が生まれるだろうと期待できるのです。



一般質問 【12月議会】我が家を「空き家」にしないために

むさし府中版 終活支援事業を充実させよう②

● 他人ごとではない、深刻な問題

ある調査によると、認知症の高齢者が所有する住宅は全国で221万戸に上るとありました。所有者の判断能力が十分でないとして売却が困難になり、空き家化することもあると言われています。また、残された家族が「もしかしたら戻るかもしれない」「思い入れが深い」などの理由で実家の売却や解体に踏み切れず、高い維持費を支払うも空き家になる事例があります。

稲津は空き家のリスクを啓発する活動や、行政でできる支援体制について質問しました。その中で、『未来ノート』を活用することについて、市から前向きな答弁がありました。



● 意思を伝え、家族で話し合う重要性

『未来ノート』（以下：ノート）とは、府中市が発行しているエンディングノートです。今回の市の答弁には、「家の相続」に関する項目をノートに加え、空き家の発生を抑えたいとありました。稲津も同様の取組を提案しようとしていたため、市の答弁に賛同いたしました。

人生の終わりについて話し合うというのは気が重く、時に衝突が起きるかも知れません。それでも、しっかり意思を伝えないことには、苦労や後悔がついて回ります。「こんなはずじゃなかった」とならないよう、ノートを始めとした終活支援が、市にも求められています。



委員会から 【12月議会】2022年夏には参院選！

府中市の期日前投票には改善の余地あり！

● 目に見えて分かる不均衡

府中市では選挙の際、市内4ヶ所に期日前投票所が開設されます。その開設日数や時間などの改善を求める陳情が提出され、総務委員会で審議されました。

期日前投票についての意見は、かねてから稲津も伺っており、2021年の衆議院選挙の際にも、「府中駅に行く用事があって、市政情報センターで投票しようとしたけど、まだ開いていなくて、市役所まで10分歩いて投票したよ」「西府文化センター（西部出張所）で投票したいけど、3日間しか無いし、雨が降ったらどうしよう」などの声がありました。

陳情文を見ると、市民の積極的な投票を促したいという想いが込められていました。



● 投票率アップに向けて

期日前投票を拡充するとすれば、人員配置や会場設営のコストなどを検討する必要があります。しかし、それは民主主義を保つ上でも必要なコストです。委員会の中で陳情への反対意見は無く、「期日前投票所（特に市役所）の混雑緩和につながる」「感染症対策の面でも有効」など、前向きな意見が多く出ました。本陳情は、委員会と本会議ともに、全員賛成で採択されました。

投票率アップに向け、市や議会も取り組んでいく必要がありますが、近年の選挙を見ていると、投票しようとしている方に対して過剰に口出しをせず、その方の想いを尊重していくことも大事だと感じています。



委員会から 【12月議会】沖縄の県民感情を逆撫でするな！

人道的観点で遺骨が残る土砂の使用に反対する

● 2つの陳情が提出された

政府は沖縄県の辺野古の埋立てに、戦没者の遺骨が残る土砂を使おうとしています。これに反対する市民から2つの陳情が提出されました。陳情13号には「辺野古」の文字が入り、陳情14号には入っていません。総務委員会では2つとも採択すべきとなりましたが、本会議では陳情14号のみ採択となりました。

2つの陳情に対し、市政会は「市政に関係ない」と突き放す発言をしました。府中市が平和都市宣言をしていることや、各地からの兵士が犠牲になっていることなどを考えると、到底許されるものではありません。



● 何としても通じたかった意見書

稲津は、陳情13号を基にした意見書を作成し提出。本会議では力強い賛成意見も出ましたが、公明府中が「辺野古と入ることで、辺野古基地反対と解釈できるため、不採択を求める」と反対を主張。市政会に加え、一部議員も反対し、不採択となりました。

● 悔しさは残るが結果的に

その後、陳情14号を基にした意見書が提出され、稲津も賛成を表明。採決の結果、賛成多数で採択となりました。議会として、遺骨が残る土砂を埋立てに使ってはならないと表明できました。



次回議会 2月21日～3月22日開催予定 予算審議も

コロナ禍を受けての予算はどうか？

● 第1回定例会では丁寧な予算審議を

令和2年度の決算や、これまでに組まれた補正予算も踏まえながら、令和4年度の予算が議論されます。予算委員会では副委員長を務めるため、その場での直接の議論は叶いませんが、既に提出した予算要望や各議員の動向、行政側の計画などを総合的に考えていきながら、最良の判断や行動ができればと思っています。

インターネットでは、総括質疑、賛否討論（実施される場合のみ）、採決の中継が予定されています。

● 続けて第2回定例会（6月議会）が開催

6月議会は、一般質問や委員会審議が中心となります。この時期には今の任期も1年を切るとあり、この間の出来事を総括するような質問が徐々に出ると予想されます。

● 本会議場にアクリル板が設置されました

12月議会より、議員側と行政側の各座席（机上）に、アクリル板が設置されました。新型コロナ対策に加え、不要な私語を抑える効果も期待されます。



【本会議（一般質問など）】

→ インターネット生中継あり。録画保存もされる。



【委員会審議（常任・特別・議会運営・予決算）】

→ 生中継されることもあるが、録画保存は無い。



【各派代表者会議】【委員協議会】

→ 生中継なし。（本来は公開すべきものです）



← 府中市議会を知る
日程や議案など、議会情報は
こちらの二次元コードから

府中市議会を見る →
本会議インターネット中継は
こちらの二次元コードから



教えて！
稲津さん

議会が謎だから聞いてみた



【質問6】



「監査委員」とは何ですか？
また、どんなお仕事をしているのですか？

【稲津けんごが答えます】

● 「監査委員」とは？

「監査」とは、公金の収納・支出、行政事務の執行などが、法令に基づいて適正に行われているかどうかを、公正な立場でチェックする制度です。

東京都府中市では、監査委員は4名です。そのうち1名は議会から、残り3名は識見を有する人物から選ばれます。いずれも、市長が議会の同意を得て選出しています。議会選出委員の任期は2年です。2021年5月開催の臨時会で、新たな委員が選出されました。

私もかつて、監査委員を務めたことがあります。

● 監査委員のお仕事とは？

監査委員は、定期的に市の行財政を監査する他、毎月の出納検査や、年1回の決算監査などを行っています。また、市民から提出された住民監査請求をもとに、内容の審査を進める役割もあります。

「監査」と聞くと、示された数字が合っているかどうかを見るだけだと思われる方もいらっしゃいますが、事務の執行内容を見る際には、数字で表されない面にも注目しています。監査には、事前準備や十分な検証が欠かせません。

監査委員の議員は、慣例的に一般質問に登壇しませんが、監査に関係しない質問であれば、登壇自体に問題は無いでしょう。



多くの資料を「見る」のではなく「検証する」仕事。



監査委員には、鋭い目と問い質す力が大事なんだね。

お知らせ

府中市を動かすのは市民の声だ

市政報告と市政相談 元気に実施中

● 市内の駅で「今」を伝える

毎週月曜日の朝は、祝日や年末年始、荒天時を除き、分倍河原駅改札口にて市政報告を実施しています。時間は朝7時からですが、始発（5時頃）から行なう場合もございます。また、不定期ではありますが、西府駅、中河原駅、西国分寺駅などでも実施しています。

● 相談窓口（事務所）もご利用を

北山町に稲津けんご事務所を開設しています。稲津不在のこともありますが、平日9時から17時まで開いています。ちょっとお話をしたい方も気軽に足を運んでください。



タウンミーティングより
(2018年)

● 稲津けんご略歴

1968年北山町生まれ・西原町在住。府中七小、私立和光中、都立狛江高卒。米・サウスアラバマ大学学士号、米・ピッツバーグ大学院修士号取得。

総務委員会、市庁舎建設特別委員会に所属。

市政レポート次号は2022年7月発行予定です。
(2022年4月は後援会通信を発行します)
公式サイトやSNSでも随時、活動報告をしています。



← バックナンバー
過去のレポート(PDF)は
こちらの二次元コードから



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。